



さとう くみこ
佐藤 久美子さん (48 歳)
一の台在住

障がいがある人もない人も 隔てなく過ごせる社会に なれば嬉しい

町社会福祉協議会に勤務。平成 8 年採用で現在 28 年目。介護福祉士の資格を持つ。障がい福祉課長のほかワークステーションかねがさきや障がい者基幹相談支援センターで管理者を務める。趣味は体のケア。夫、両親、子ども 2 人の 6 人暮らし。

町社会福祉協議会で放課後等デイサービス、就労継続支援、通所介護などの地域福祉に携わってきた久美子さん。「いろいろな人が社会で輝けるようにサポートすることは、とてもやりがいがあり楽しいですね」と利用者が元気に過ごせるように毎日汗を流す。高校生の時に祖父が入院し、介護の様子を見ているうちに、介護福祉へ興味を持ち、多くの人達の支えになりたいと思うようになっていった。

現在担当しているワークステーションかねがさきでは、職員や利用者の管理を行うほか、利用者の朝晩の送迎やふれ愛食堂を統括する。コミュニケーションを欠かさず、利用者からも「久美子さん、今日こんなことがあったんだよ」と笑顔で話しかけられる。障がい者に限らず、人と話をする際は傾聴することを常に大切にしている久美子さん。相談される事も多く、直接的な解決にならなくとも、プラスになる言葉をかけて、相手を安心させてあげられるように心がけている。

街中で子どもたちや利用者に出会った際に元気に挨拶されると「施設にいるときだけの関係ではなく、社会に出ても繋がっていると実感できるときは嬉しいですね」と福祉事業に対する思いを口にする。

今後は「金ヶ崎町は子どもの居場所づくりは広がってきているので、大人や障がい者が気軽に立ち寄れる集いの場が増えれば」と笑顔で話してくれた。

広報日記



新年あけましておめでとうございます。今年も皆様にご覧いただけるような広報をお届けできるよう頑張ります。

私事ですが年末に祖父が亡くなりました。市議会議員を 1 期務め、晩年は洪水被害の様子を伝承するなど精力的に活躍した一方、旅行が好きでいろいろな所に連れて行ってもらい、幼少期から様々な体験をさせてもらったことは、本当にありがたいことだったなあと思っています。いつでも笑顔で優しい表情をしていたことが今でも思い出されます。「じいちゃん、今までありがとうだね。俺ももっと頑張るよ」(千葉)

人口と世帯

12 月 31 日現在

※() 内は前月比

人 □	15,121 人	(△ 10)
男	7,763 人	(△ 7)
女	7,358 人	(△ 3)
世帯数	6,504 世帯	(± 0)